

2018年4月1日

日本臨床歯科医学会 大阪支部 平成30年度第1回学術大会（大阪SJCD 第206回例会）が、大阪・梅田のブリーゼプラザで開催されました。

まず、今年度より日本臨床歯科医学会 大阪支部長に就任されました米澤大地先生による基調講演が行われ、

「矯正・インプラントを含んだ包括的治療計画」というテーマのもとその複雑な治療計画の立案方法、並びにデジタルデンティストリーを利用した将来の展望について講演して頂きました。

また特別講演として、日本臨床歯科医学会 理事長であり東京SJCD 最高顧問の山崎長郎先生にお越し頂き

「修復治療の新たな展開」をテーマに、マテリアルの正しい選択法・CAD/CAMの使用法など多方向から新世紀に相応しい修復治療法について、解説して頂きました。

今大会は SJCD から日本臨床歯科医学会に移行した、大阪では最初の学術大会であり、本学会の発展を希求する絶佳な大会となりました。